

ウクライナ

(Ukraine)

I 概要

- | | | | |
|---------|----------------------------------|----------------------|-----------------------|
| 1. 人口 | 4,520 万人 (2015 年, 世界銀行) | 5. 1 人当たり国民総所得 (GNI) | 2,620 ドル (2015 年, 世銀) |
| 2. 面積 | 60 万 3,700 平方キロメートル (日本の約 1.6 倍) | 6. 首都 | キエフ |
| 3. 政治体制 | 共和制 | 7. 通貨単位 | フリヴニャ (UAH : hryvnia) |
| 4. 言語 | ウクライナ語 (国家語), その他ロシア語等 | | |

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ukraine/data.html>) (更新日: 2016 年 11 月 29 日)。

II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2013 年	83%	84%	82%
初等教育	2014 年	104%	103%	105%
中等教育	〃	99%	100%	98%
高等教育	〃	82%	77%	88%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

III 教育行政制度

中央に置かれる教育・科学省が、教育政策の立案、教育法令の整備、教育課程基準の策定、教科書の編集・出版、国立学校（主に高等教育機関）の設置等を行う。

IV 学校体系

(学年暦：9月～翌年6月)

1. 就学前教育

就学前教育は、3～6歳児を対象に、保育所、幼稚園等で行われる。

2. 義務教育

義務教育は、6～15歳の9年（又は7～15歳の8年）である。

3. 初等教育

初等教育は、通常、6歳又は7歳入学で、4年間、初等中等教育学校で行われる。（7歳入学の場合は3年制であり、週当たり授業時間数が4年制よりも多くなる）。

4. 中等教育

中等教育は前期と後期に分かれる。

前期中等教育は、5年間、初等中等教育学校の第5～9学年で行われる。第9学年の終了時には全国共通試験が行われ、合格者には基礎中等教育修了証が授与され、修了と後期中等教育への進学が認められる。

後期中等教育は、2年間、上級中等学校で行われる。上級中等学校の終了時には全国共通試験が行われ、合格者には上級中等教育修了証が授与され、中等教育修了と高等教育機関入学試験の受験資格が認められる。このほか、職業教育を行う機関として職業・技術学校（3～4年）があり、修了書は職業資格を授与される。

5. 高等教育

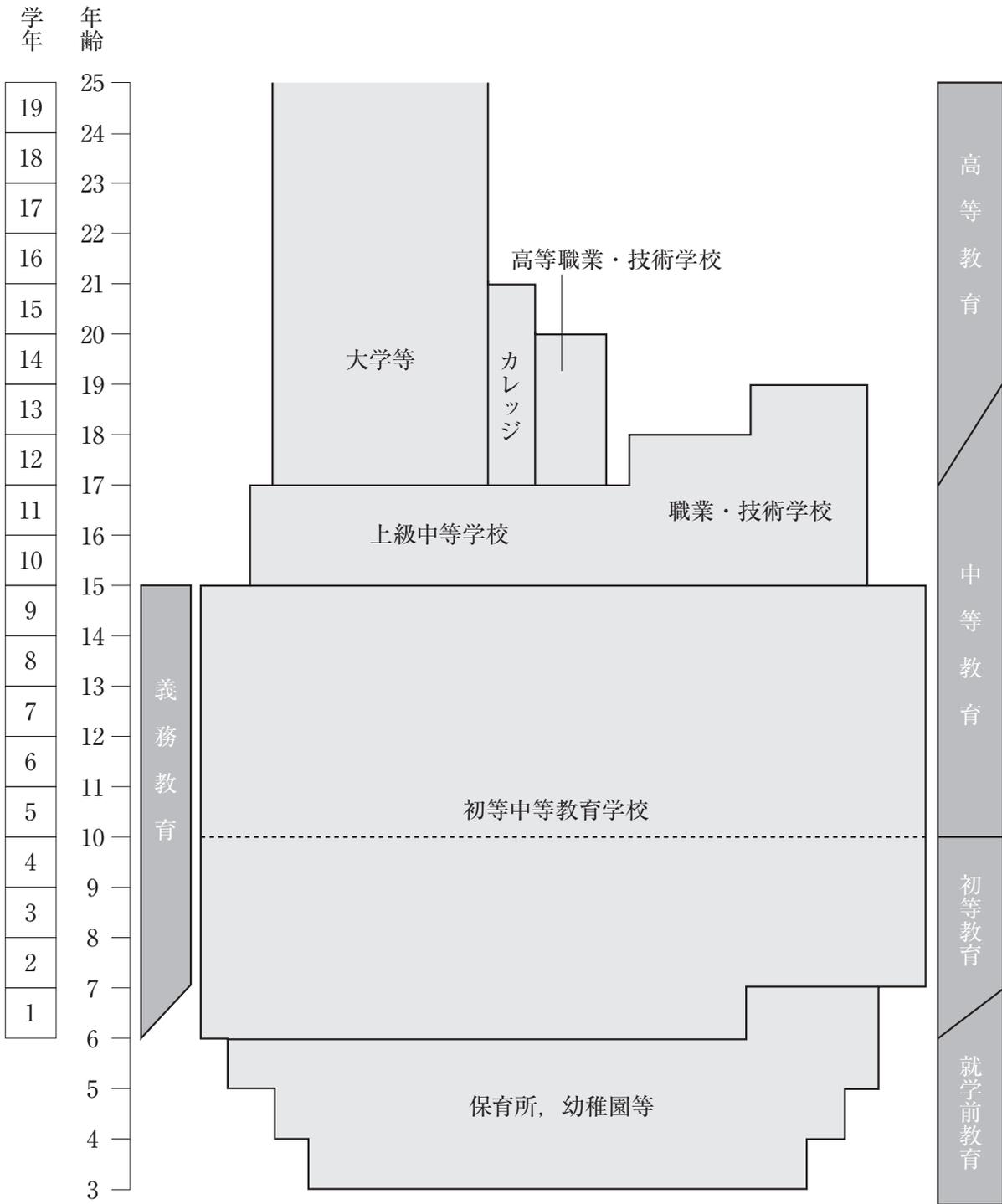
高等教育機関は、大学等（大学、アカデミー、インスティテュート、コンセルバトワール）、カレッジ、高等職業・技術学校で行われる。入学は、中等教育修了証を取得した後、各機関が行う入学試験に合格した者に認められる。

大学には、学士課程（4～6年）、修士課程（1～2年）、博士候補資格取得課程（3年）、博士課程（博士候補資格取得後3年）が置かれている。カレッジには、学士課程（修業年限3～4年）が置かれている。高等職業・技術学校には、職業教育課程修了証（ジュニア・スペシャリスト）取得課程（修業年限3年）が置かれている。

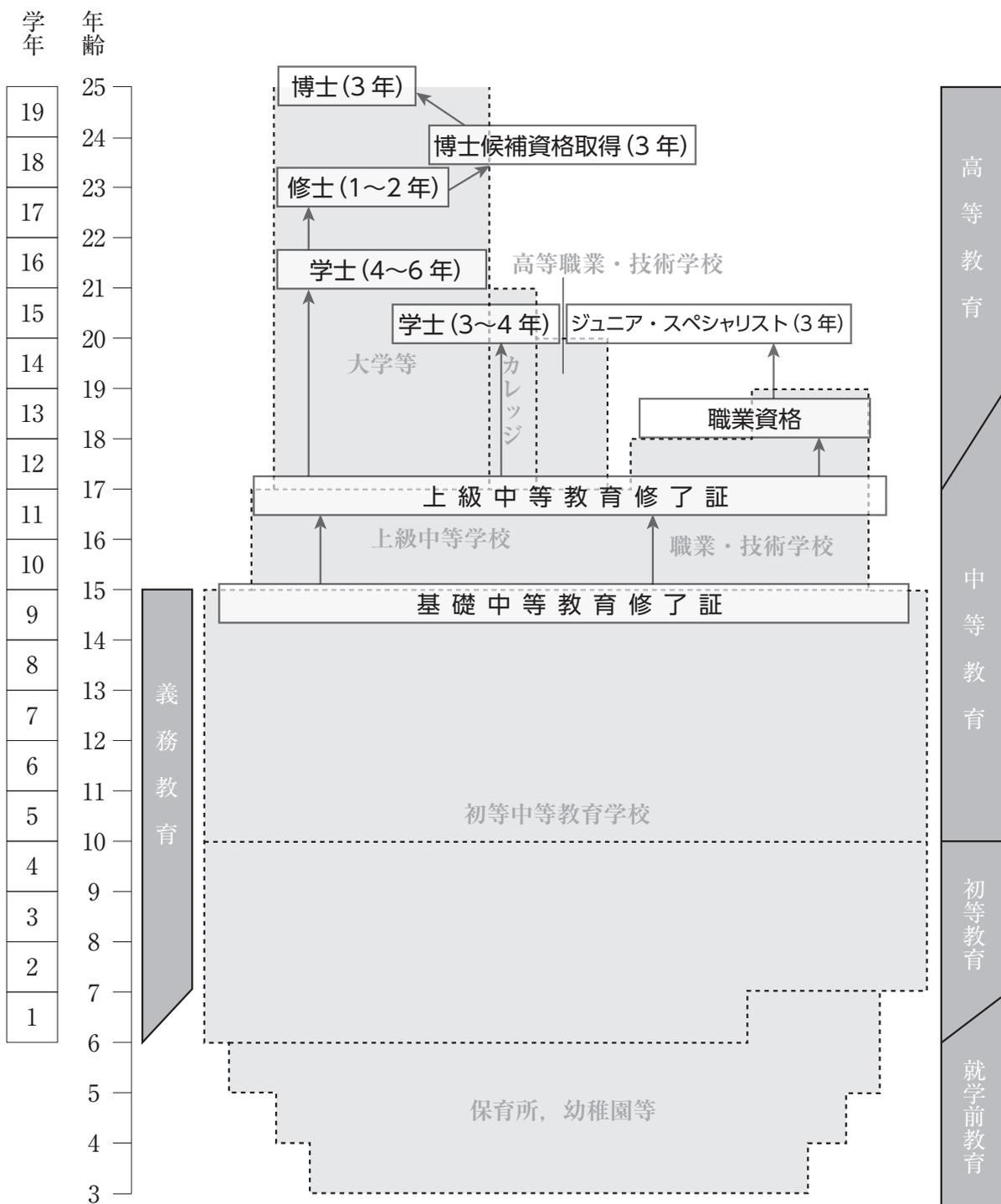
《参考資料》

- ・ UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11.
- ・ 外務省, 「諸外国・地域の学校情報（ウクライナ）」（平成27年12月更新情報）。
- ・ TEMPUS Higher Education in Ukraine, 2012年8月 (http://eacea.ec.europa.eu/tempus/participating_countries/overview/ukraine_tempus_country_fiche_final.pdf).

V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位



欧州